

# 船舶事故調査報告書

平成27年12月17日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	平成27年6月7日 10時15分ごろ
発生場所	岡山県瀬戸内市前島南西方沖 蓬崎 <sup>よもぎさき</sup> 灯台から真方位086° 2,950m付近 (概位 北緯34° 36.1′ 東経134° 10.2′)
事故の概要	プレジャーボート <sup>よしだ</sup> 吉田丸Ⅲは、東進中、また、プレジャーボート第5西丸 <sup>にし</sup> は、漂流中、両船が衝突した。 吉田丸Ⅲは、船首部に擦過傷等を生じ、また、第5西丸は、乗船者2人が負傷し、右舷船尾部に破損等を生じた。
事故調査の経過	平成27年7月27日、調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済み
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A プレジャーボート 吉田丸Ⅲ、5トン未満（長さ8.05m） 291-32981岡山、個人所有 B プレジャーボート 第5西丸、5トン未満（長さ6.34m） 260-24714岡山、個人所有
乗組員等に関する情報	A 船長A、二級小型・特殊・特定 B 船長B、二級小型・特殊・特定
負傷者	A なし B 軽傷 2人（船長B及び同乗者B <sub>1</sub> ）
損傷	A 船首部に擦過傷、プロペラ翼に曲損 B 右舷船尾部に破損及び亀裂等
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮流 西流約1ノット、潮汐 上げ潮の中央期
事故の経過	船長Aは、操縦席で立って操船し、前方で漂流中のB船を認めていたものの、右舷中央部付近に置いたクーラーボックス上の上着が風で船外機付近に飛ばされたのを見て、上着を取りに行くだけなので、すぐ操縦席に戻ることができると思い、上着を取りに行った。 船長Bは、船尾甲板で釣り道具を片付けていた。
分析	A船は、船長Aが、前方のB船に接近する前に操縦席に戻ることができると思って上着を取りに行き、見張りを行っていなかったことから、B船に衝突したものと考えられる。 B船は、船長Bが、釣り道具を片付けていて見張りを行っていなかったことから、接近するA船に気付かなかったものと考えられる。
原因	本事故は、A船の船長A及びB船の船長Bが共に見張りを行っていなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられ

	る。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 常時適切な見張りを行うこと。